学習発表会での バスケット ボールの歴史

研究発表劇 小6対象

私の 実践

中川孝子

（大阪市立中川小学校）

学習発表会で スポーツの歴史を

私の勤める中川小学校では、展覧会と学習発表会が隔年で行われている。昨年は、学習発表会の年で、二学期が始まったころから、何をしようかと思いを巡らせていた。

学習発表会といえば、音楽、劇、群読、研究発表などが定番で、体育では、おどりやリズムなわとびがある。

「水泳の歴史」の授業を行って以来、すっかりスポーツの歴史のとりこになってしまった私は、学習発表会でスポーツの歴史ができないかと考えるようになっていた。

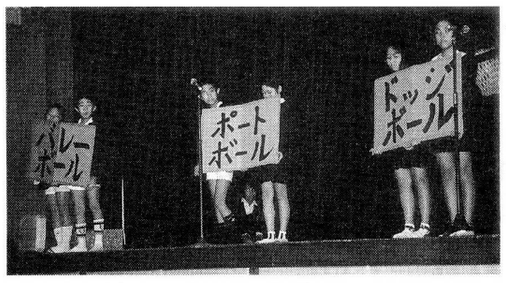
学習発表会で行えば、他の学年やクラスの子ども達にも、スポーツに歴史があることが伝えられるという思いもあった。

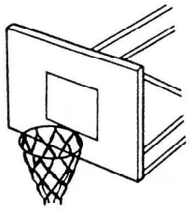
なかなか見通しは持てなかったが、思いきってバスケットボールの歴史を取り上げることに決めた。

まずは、文献研究から

発表方法は、研究発表だけにせず、各場面で再現の劇をすることにし、研究発表劇ということにした。

まず、バスケットボールの歴史について文献研究をさせるため、資料として「スポーツ大事典」「先生なぜですか。フットボール型球技編」「スポーツ体育ものがたり13」のバスケットボールのところを人数分印刷し、読んでくるように言った。





ただ読むだけでは印象に残りにくいだろうと考え、資料といっしょに「どこの国で生まれたスポーツですか。」など、8つの質問の紙をいっしょに渡した。

質問の答えをみつけようと、子ども達は、予想以上に読みこなしてきた。感想には、「たった一人の先生が考えてできたなんて、すごいことだ。」「ルールがだんだん変わってきたとは、知らなかった。」など、驚きが数多く書かれていた。

シナリオ作り

いよいよシナリオ作りに入った。場面ごとに4択クイズを出し、その答えを劇で表わす（場面は4場面、3つの質問）ことにし、どの問題を取り上げるかをクラス全体で話し合った。色々な意見が出て、この話し合いはなかなかおもしろかった。特におもしろかったのは、質問が決まり、誤答を何にするかの話し合いだった。いかにもっともらしい説明を用意するか、子ども達は知恵をしぼった。

そして、答えの劇のシナリオは、希望者6名で分担し、作ってきたものに、私が少し手を入れた。

問題を出す人と答えの劇の人が重ならないように配役を決め（1人2回出演）、練習に入っていった。

☆ はじめのおはなし

第1問 バスケット$_B$誕生のエピソードとは？

（1.体力，2.かご，3.8人の先生，4.ラグビーボール）

劇① 先生方の会話とネイスミス氏の考える様子。

② ドリブルの技術が考え出されたきっかけ。

第2問 バックボードは、なぜできたか？

（1.シュート 2.手すりの中 3.じゃま 4.けが人）

劇③ 見物人のシュート防害の様子。↗

④ ゴールの移つり変わり。↘

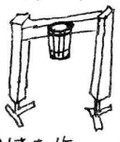
第3問 バスケットをヒントに創られたスポーツは？

（1.バレー$_B$ 2.ポート$_B$ 3.ドッジ$_B$ 4.ゲート$_B$）

☆ 答えとおわりのおはなし

大道具づくり

練習と並行して、大道具，小道具作りも行った。一番難しかったのは、ゴールをどこにつるすかだった。試考錯誤の後、走り高とびのスタンドを使ってダンボールをつけ、柱を作り、それに横木をわたしてぶら下げた。



また、初期のゴールは、発泡スチロールで本物さながらの桃の取り入れのおけを作った。次は、同じく発泡スチロールのあみで底あり、次は、くさり。そして、底をなくした物…と作っていった。

先生役の子ども達は、口ひげや蝶ネクタイ、女の子は、長いスカートを作った。物干しざお2本と平ゴムで作ったギャラリーの柵は、アイデア作品だと思っている。

発表本番!!

学習発表会、当日、5・6年生の子ども達と保護者を前に、練習どおりの発表ができた。時間の長過を意識させたため、早口になってしまったが、満足できるものだった。

この研究発表劇をすると私が言った時に反対していた子ども達も、途中からしだいにのってきて、「この話は、なかなかいける話だ。」と自分達の出し物に自信を持ってくれたことが、うれしかった。

「スポーツに歴史がある。」これがどれだけ観客に伝わったかは、分からないが、クイズの答えに歓声や驚きの声があがったことで、ひとまず成功だったと思っている。

学習発表会の出し物のレパートリーが増えた。これは様々なスポーツで作れそうだ。